



いくつになっても 支え合い健康に 暮らす



年を重ねてもずっと元気に過ごすには、一人一人が健康づくりに取り組むだけでなく、地域住民がお互いに支え合うことも大切です。今号では、地域での支え合いや健康づくりについて紹介します。 [☎ 地域包括ケア推進課 \(025-226-1281\)](tel:025-226-1281)

目次) CONTENTS

| 特集 |
1~3 支え合い健康に暮らす

4 にいがたCITY NOW
● 生活支援特別給付金
● 新型コロナワクチン4回目の接種
● 参議院議員通常選挙
● 市職員を募集

5 連載 新潟の食を巡る心温まる1冊
熱中症を予防しよう

他3ページは区役所だより「情報ひろば」は別冊で発行しています

超高齢社会を迎え、本市では、誰もが住み慣れた地域で生きがいを持ちながら、自分らしくずっと安心して暮らせる環境づくりを進めています。

「お互いさま」で支え合い、誰もが気軽に集まれる「地域の茶の間」は、今では市内500カ所以上で開催され、住民同士の助け合いや健康づくりの場として多くの方から大変親しまれています。

また、「元氣力アップ・サポーター」制度といった取り組みを通じて、高齢者の方から身近な福祉施設などでもちよつとしたボランティア活動をしていただき、地域の中で活躍いただいています。

住民同士の「支え合い」は健康づくりだけでなく、子育て環境や地域の活力、防犯・防災力の向上にもつながります。今後とも、地域住民の絆がより一層深まり、「助け合い・支え合いの輪」が広がっていくよう努めてまいります。

新潟市長 中原 八一